

用語解説集

(あ行)

アイドリングストップ

停車中など車のエンジンを必要としないときに、エンジンを止め、炭素酸化物(CO_x)や窒素酸化物(NO_x)などの排出を押さえ、環境への負荷をやわらげようとする行動です。

アメダス

気象庁が、局地的な集中豪雨などの異常気象を監視するために開発した気象観測システムのことをいいます。アメダスという呼び名は、正式には「地域気象観測システム」といい、もっと親しみやすく、言いやすい名称を考えた結果、英名の「Automated Meteorological Data Acquisition System」から、それぞれの頭文字A M e D A Sをとって「アメダス」とつけられたものです。

ETC (Electronic Toll Collection)

無線通信を利用して通行料金の支払を行う新しい通行料金支払方法です。

自動車の車載器とETC車線に設置されたアンテナと交信して通行料金を支払います。

料金所で車の窓を開けて通行料金を支払う煩わしさを解消し、スムーズな通行が可能になります。

ESCO (Energy Service Company) 事業

工場やビルの省エネルギーに関する包括的なサービスを提供し、それまでの環境を損なうことなく省エネルギーを実現し、その顧客の省エネルギーメリットの一部を報酬として享受する事業をいいます。

NPO

Non Profit Organization (利潤を分配しない組織)の頭文字をとったもので、通常「民間非営利組織」と呼ばれています。株式会社や営利企業とは違い、収入から費用を差し引いた利益を関係者に分配せず、次の活動の費用にします。NPOとは、非営利活動を行う非政府、民間の組織です。

エネルギー消費機器

空調機器、照明、パソコンなどの電気や燃料を消費する機器をいいます。

(か行)

夏期の打ち水

打ち水とは涼を得たり、土ぼこりが舞い上がるのを防ぐため昔から行われてきた日本人の知恵の一つです。打ち水により地面に撒いた水の蒸発効果で、地面の温度が下がり、気温の低下を促します。

河川・海水温度差 (エネルギー)

河川や海水の温度は年間を通じて余り変化しないので、外気との温度差を、給湯、暖房、冷房に利用します。規模の大きい都市地域で主に活用されています。

河川基底流量

河川基底流量とは河川流量のうち降水が直接流出したのではなく、無降雨時の低水量をいいます。

環境率先行動計画

県自らも環境負荷の低減等の取組を計画的に推進すべく、温室効果ガスの排出抑制等について目標を定めた計画をいいます。

環境適合型社会形成推進会議地球温暖化対策部会

地球規模の大気環境の問題、ヒートアイランドの問題及びその対策等について、情報の収集・整備、連絡調整及び検討等を行うため、兵庫県庁内に設置しているものです。

環境の保全と創造に関する条例

社会の構成員すべての参画と協働による環境適合型社会の形成を基調として、健全で恵み豊かな環境を保全し、ゆとりと潤いのある美しい環境を創造するための兵庫の環境特性を踏まえた施策を、県民の総意として、総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の県民の健康で文化的な生活の確保に寄与するために制定された条例です。

関西エコオフィス宣言運動

身近なところからの省エネルギー等の取り組みを実施するオフィスを募集し、地球温暖化防止活動の裾野を拡げていく運動で、関西広域連携協議会が実施しています。

関西広域連携協議会

関西の府県、政令市等の地方公共団体及び経済団体並びに各種関西関連団体等が、産業、歴史、文化などの関西の持つ優れた特性を最大限に活かしながら、様々な分野で広域的な連携を図り、広域化、多様化した地域課題に対応するとともに、各地域の個性、魅力の一層の向上を図りつつ、関西の総合力と効率性を高め、関西の発展に寄与することを目的として設立されました。

気温モニタリング

気温を継続して測定することをいいます。

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)

Intergovernment Panel on Climate Changeの略で、1988年(昭和63年)に、国連環境計画(UNEP)と世界気象機関(WMO)の共催により設置された機関です。世界の第一線の専門家が、地球温暖化について科学的な評価を行っています。

光化学オキシダント

光化学スモッグの原因となり、高濃度では粘膜を刺激し、呼吸器への影響を及ぼすほか、農作物など植物への影響も観察されています。

公共車両優先システム(PTPS)

Public Transportation Priority Systemsの略で、優先信号制御やバス専用・優先レーンの設置により、公共交通車両の優先通行を可能にするシステムをいいます。

交通需要マネジメント(TDM)

Transportation Demand Managementの略で、道路を利用する方に出発時間やルート、または、自動車以外の交通手段に変更してもらうなどして道路交通混雑を緩和することを目的とした渋滞対策のことです。

交通流対策

公共交通機関の整備、自転車利用の普及啓発などによる自動車利用の抑制や駐車対策、ETC の導入、信号機の系統化などによる道路交通流を円滑化する対策をいいます。

5年移動平均

気温や熱帯夜の変化には長期的な変動と短期的な毎年の変動が含まれていると考えられるため、長期的にどのような変化をするかということを見る場合に、短期的な変動を除去する必要があります。5年移動平均では、前後2年間を含んだ5年間の平均を中心年の値としています。

混合層（ダスト・ドーム）

日射の加熱で不安定化した、上下の対流混合が盛んな層のことで、都市中心部を煙がドーム状に覆うことをいいます。

コンパクトな市街地

都市の郊外化は、移動のためのエネルギーや空間が消費されることから、まとまりのある都市の形が有用であるため、現在ある市街地の土地を有効に利用しながら、道路や住宅地、下水道、様々な人が集まる施設を効率よく整備し、環境負荷の小さな人口規模にあった市街地をいいます。

（さ行）

施設内緑化

公共施設や民間の施設において緑化することをいいます。

自然被覆率

森林等自然のものに土地がどれ位の割合で被覆されているかを示すものです。

遮熱性舗装

遮熱性舗装とは、太陽エネルギーの約50%を占めるといわれる近赤外線を効率的に反射する舗装で、路面温度の上昇を抑制し舗装体への蓄熱を減らし「ヒートアイランド現象」を緩和するものです。

省エネ型家電製品

省エネ型家電製品とは、通常のものよりエネルギー効率の良い家電製品をいいます。省エネ型家電製品には、省エネラベリング制度により表示がされています。省エネ型家電製品を使用することにより、エネルギーの節約となり二酸化炭素（CO₂）や人工排熱を削減することができます。

省エネライフ

電気やガスなどの効率的な利用で省エネルギー、光熱費の節約に役立ち、環境問題の原因となる二酸化炭素の排出量を抑えるなど、地球環境にやさしい暮らしかたをいいます。

蒸発潜熱

物質の状態変化のためだけに費やされる熱で、蒸発の際の熱（気化熱）をいいます。

人工構造物

ビルやアスファルト等で覆われた道路などをいいます。

人工排熱

冷房の稼働などによる建物からの排熱や、工場や自動車からの排熱をいいます。

(た行) 対流顕熱

放射により加熱された物質(地表面)から大気へ対流する熱のことを表しています。

地球温暖化

地球温暖化とは、地球を覆っている大気中の温室効果ガス(二酸化炭素、メタンなど)の濃度が増加することにより、地球全体として、地表や大気の温度が上がる現象であり、気温上昇だけでなくさまざまな気候変動が生じるとされています。

地球温暖化対策の推進に関する法律

地球全体の環境に深刻な影響を及ぼす地球温暖化、気候変動に関する国際条約を踏まえ、地球温暖化に関し、国、地方公共団体、事業者、国民の責任を明確にし、地球温暖化対策を推進することにより、国民の健康と文化的生活を確保し、人類の福祉に貢献することを目的とした法律です。

地球温暖化防止活動推進員・協力員

地球温暖化防止活動推進員は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、県民などによる地球温暖化防止の活動を支援し助言するため、都道府県知事が委嘱する運動員をいいます。

地球温暖化防止活動推進協力員は、自らの日常生活において地球温暖化防止活動を実践し、推進員と連携・協力しながら地域住民の中に入り、実践活動の先導をボランティアで行っていただける方で、知事が委嘱する運動員をいいます。

地中熱

井戸水は夏冷たく、冬暖かく感じるのは、井戸水は季節に関係なく一定の温度であるためです。日本の一般的な地下の温度は、5～10mより深いところでは、季節に関係なく10～15℃でほぼ一定で、この熱を「地中熱」と呼んでいます。この温度差をエネルギーとして利用します。

調整池

宅地開発等に際し、排水計画に設けられる施設で、文字通り雨水排水を調整することをその目的としています。

貯留浸透施設

敷地内に降った雨水を貯留する雨水貯留槽及びこれに付随する給排水設備を備えたものをいいます。

道路交通情報通信システム(VICS)

Vehicle Information and Communication Systemの略で、道路の渋滞情報や事故情報など、快適なドライブに欠かせない道路情報を、FM多重放送、電波ビーコン及び光ビーコンを利用し、リアルタイムで発信する情報通信システムです。

特定物質(温室効果ガス)排出抑制計画・措置結果報告

兵庫県環境の保全と創造に関する条例の規定に基づき一定規模以上(燃料・熱の年間の使用量が原油換算で1,500kl以上、又は電気の年間の使用量が600万kWh以上)に特定物質(温室効果ガス)の排出抑制計画の作成と知事への提出、措置結果の知事への報告を義務付けたものです。

都市化

工業化などに伴って人口と経済活動を都市部に集中していくことをいいます。

(な行)

熱帯夜

夜間の最低気温が25℃以上の夜のことをいいます。

夏のエコスタイルキャンペーン

地球温暖化の防止を図ることを目的に、省エネルギーへの取り組みを推進する「関西エコオフィス宣言」の夏季における重点取組の一環として関西広域連携協議会が実施しているオフィス等における適正冷房の実施徹底と軽装を広く呼びかける運動です。

(は行)

バイオマス

エネルギーとして利用できる、まとまった量の植物起源の物質のことを指すようになっていきます。

具体的には、林業廃棄物、農業廃棄物、畜産廃棄物、生物系資源由来の都市廃棄物(生ゴミ、紙くず等)等をいいます。

ヒートアイランド対策関係府省連絡会議

ヒートアイランド対策に関係する行政機関が相互に密接な連携と協力を図り、ヒートアイランド対策を総合的に推進するために国が設置した会議をいいます。

ヒートアイランド対策大綱

ヒートアイランド対策に関する国、地方公共団体、事業者、住民等の取組を適切に推進するため、基本方針を示すとともに、実施すべき具体の対策を体系的に取りまとめたものです。

ヒートアイランド対策に関する指針

事業所におけるヒートアイランド対策の自主的な取り組みを進めるための指針をいいます。

兵庫県地球温暖化防止活動推進センター

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき設置が定められた地球温暖化防止に向けた普及啓発のための組織です。地球温暖化防止活動の促進を図ることを目的とする民法法人(財団法人・社団法人)又は特定非営利活動法人(NPO法人)を、都道府県に一つに限り、センターとして指定することができることとされており、兵庫県は財団法人ひょうご環境創造協会を平成12年4月1日に指定しています。

輻射熱

暖かい物体から冷たい物体へ熱線による熱移動が行われる現象をいいます。

保水性舗装

保水性舗装とは、舗装体内に保水された水分が蒸発し、水の気化熱により路面温度の上昇を抑制する性能をもつ舗装です。一般の舗装よりも舗装体内の蓄熱量を低減するため、歩行者空間や沿道の熱汚染環境の改善、ヒートアイランド現象の緩和が期待されています。

(ま行)

真夏日

昼間の最高気温が30℃以上になった日のことをいいます。

水と緑のネットワーク

都市化の進展等に伴い健全な水循環が損なわれている都市近郊地域において、既存の河川、都市下水路等のネットワーク化を図り流水を相互に融通するとともに、隣接する都市公園とも一体的な整備を行うことにより、都市内河川・水路の水質浄化、流況改善、良好な緑地環境の創出を図ることをいいます。

緑の拠点

多くの人々が集まり憩う都市の緑のシンボル空間や地域の緑の核となる地点をいいます。

緑豊かな地域環境の形成に関する条例

適正な土地利用の推進、森林及び緑地の保全、緑化の推進並びに優れた景観の形成を図ることにより、緑豊かな地域環境を形成し、もって自然的環境と調和した潤いのある地域社会の実現に資することを目的として策定された条例です。

緑を保全・活用する基準

開発を行うことを規制又は抑制しようとするものではなく、地域活性化のためには開発は必要なものであるとの立場に立ち、適正な土地利用の推進を図るための基準です。

(や行)

湧水(ゆうすい)

地下水が湧き出し地表に現れたものをいいます。

(ら行)

冷房の適正温度設定

夏の冷房温度を28℃に設定することによる省エネルギー対策をいいます。